

1 栄養学科における教職課程の理念

栄養学科が目指す教員養成 —栄養教諭—

健全な食生活を営むことは、人が健康かつ幸福な人生を築いていくための重要な柱のひとつであり、子どもの時代からより質の高い食育を授けることが大切です。

栄養学科では、児童生徒に栄養の大切さと正しい知識、そして「自分の健康は自分で守る」ことのできる自己管理能力を伝えることのできる栄養教諭の養成を目指しています。

そのためには、栄養教諭を目指す学生自身が栄養学の専門家として、栄養の知識と仕組みを十分に理解していること、教育の専門家として児童生徒の心を理解していること、児童生徒へどのようにかかわっていくことが必要なのかについて十分理解していることが重要です。

これらの力を身につけるために本学では、総合人間科学の科目や栄養の専門教育科目および教職に関する科目の3つの領域を横断したカリキュラムを用意し、実践力重視の指導に取り組んでいます。

本学における4年間の教育が、栄養の専門職としての資質及び教育の専門職としての資質を涵養し、さらに食べ物に対する感謝の気持ちと教育を受けることに対する感謝の気持ちを通し、建学の精神である「感恩奉仕」の心を次世代に伝えることのできる栄養教諭を育成していきます。